

働く人の健康管理・健康づくり情報誌

へるすあっぷ21

6

2024
JUNE
No.476



座りこばなしない選注賞

特集

身体活動・ 運動を促すヒント

わかる！身につく！健康力 その不調、気象病？

最前線レポート 「健康経営銘柄2024」「健康経営優良法人2024」発表

けんぽREPORT 健康保険組合連合会 令和5年度保健師・看護師等全国研修会

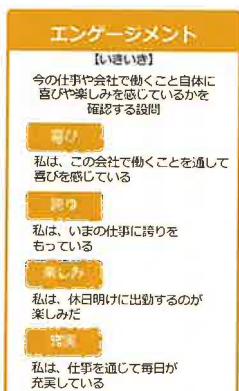
■PHONE APPLI

職場のコミュニケーション活性化を促すアプリなどを提供するPHONE APPLIは、

健康経営およびウェルビーイング経営の推進が企業の長期的な利益や成長につながるとの考え方のもと、従業員の幸福度を高める施策を実施している。特徴的な取り組みのひとつが上司と部下の1on1で、週1回30分、上司と何でも話せる時間を部下の権利として確保。自社開発のリモート1on1ツールも活用して質の高い対話を実現し、心理的安全性の高い職場づくりの一助としている。また、「組織の幸福度」を測る調査を毎月実施して結果を検証し、社内制度の

組織の幸福度を調査

(株)PHONE APPLIが開発した「組織の幸福度」を測る調査「Well-being Company Survey」は、全12項目の質問で構成される(一部抜粋)



整備やコミュニケーションツールの活用、快適なオフィス環境づくりなどにつなげている。

同社代表取締役社長の石原洋介氏は、「職場の人間関係やコミュニケーションは、従業員の幸福度や健康度に大きな影響を与える。従業員同士が新しい価値を創造できる。健

康経営ではコミュニケーションの施策も非常に重要な」との見解を示した。

■ハリウコミニケーションズ(株)

従業員数約30人の印刷会社であるハリウコミニケーションズ(株)では、働き方改革とダイバーシティ経営、健康経営の三位一体の取り組みで社内風土の改革を進めてきた。

同社の健康経営の大きな特徴

は、元養護教諭の取締役が中

心となり、学校保健の考え方

を取り入れていることだ。とくに教育の視点を大切にし、従業員が自ら健康を保持・増進できるための知識の習得お

よび疾病予防のための生活習慣の獲得を目標に掲げている。



「社食の日」のメニューの一例

康づくり研修会の実施、メンタルヘルスケアの充実、作業の効率化や残業時間の削減など、健康課題の解決に向けた多様な施策を行なうなかで、ユニットなのが食育の一環で実施している「社食の日」だ。総務部が中心となつて毎月2回、野菜たっぷりの食事を提供すると同時に、食材の栄養素について解説した健康・栄養メモを渡している。

同社代表取締役の針生英一

氏は、こうした健康経営の施策はビジネスへの波及効果も

■株長田工業所

役職員やパート・アルバイトを含めて約20人のスタッフが働く株長田工業所では、経営理念のひとつに掲げる「全従業員の物心両面の幸せを追求する」の実現に向けて健康経営を推進している。

社内に健康経営の取り組み

を重視しており、朝礼時に同

社が大切にしている考え方を

のベクトルを合わせること

を記した「朝イチ研修

手軽にできるストレッチ

」の読み合わせや全員でのラジオ体操を実施。また、自

主性を育む観点から、健康に

関することを従業員自身が調べて5分間のプレゼンを行つたり、有給休暇の取得状況や

整備やコミュニケーションツ

ールの活用、快適なオフィス環境づくりなどにつなげてい

る。

スポーツクラブの活用や健

康づくり研修会の実施、メンタルヘルスケアの充実、作業

の効率化や残業時間の削減など、健康課題の解決に向けた多様な施策を行なうなかで、ユニットなのが食育の一環で実施している「社食の日」だ。

総務部が中心となつて毎月2回、野菜たっぷりの食事を提供すると同時に、食材の栄養素について解説した健康・栄

養メモを渡している。

との考え方を示し、「当社では三位一体の取り組みによって

チーム力が向上し、従業員同士が補完し合う関係性が築かれており、若手社員の食事状況を踏まえて導入した置き型

健康経営は会社と従業員双方の関係性を改善し、互いの信頼感が増す取り組みだ」と語った。

残業時間を可視化して互いに

フォローし合う社風の醸成にもつなげたりしている。さら

に、社外への発信にも力を入れており、若手社員の食事状況を踏まえて導入した置き型

社食サービスの利便性が高かつたことから、同様の悩みを抱える近隣企業を対象に試食会を開き、代理店としてサービスの販売も行っている。

同社代表取締役・小林輝之氏は、「今年は創業以来、初めて新卒社員を3名採用しており、健康経営の取り組みの成果と感じている。中小規模の企業で健康経営を進めるためには、経営者自身が従業員のためにどれだけ時間とお金かけられるか、その覚悟が必要」と力強く語った。

同社代表取締役・小林輝之

氏は、「今年は創業以来、初

めに、健康経営の取り組みの成果と感じている。中小規模

の企業で健康経営を進めるためには、経営者自身が従業員

のためにどれだけ時間とお金

をかけられるか、その覚悟が

社外に情報発信



健康経営の取り組みはInstagramやFacebookで社外に配信

